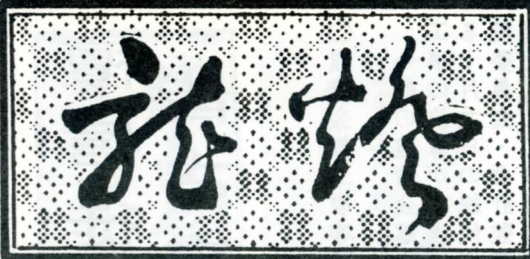


第13号

発行所 大阪市史跡 龍溪禪師墓所
 靈龜山 九 島 禪 院
 〒550 大阪市西区本田 3丁目4-18
 ☎06-582-5772

発行人 住 職 奥 田 啓 知 (智證)



莊嚴華やかに挙行

皆様のおかげです

靈龜山九島院二十五代住職・奥田啓知禪師の就任式にあたる晋山式(しんざんしき)が、龍燈会館落慶法要に併せ、さる十月三十一日午前、厳肅なうちに華やかに挙行されました。同法要には、大本山萬福寺より黄檗宗第五十八代管長奥田行朗猊下を拝請し、黄檗山塔頭萬松院・奥田仁芳老師をはじめ法類や区内寺院住職三十九人、西区仏教会長・竹林寺保阪正昭上人の他、四百人あまりの檀信徒が参列されました。

前日までの雨が嘘のように晴れ上がり、秋気爽やかな晴天の下、総代酒向家仏間での回向、竹林寺開基西哲雲居士(九島院開基でもあります)の墓前回向を済ませた後、新命和尚の行列は午前九時五十分に、竹林寺を出発しました。

一行は、大阪供奴保存会(住吉大社の御田植え神事にも参加し無形文化財に指定)の面々の毛槍行列を露払いに、稚児さん四十九名を先頭に寺院方や総代さん等総勢百七十名でした。

新命の前には幢幡(どうばん)宮灯(こんて)提灯(ていとう)が進路を清め、サインモール商店街を整然と進み、定刻の十時三十分には山門到着。ここで一問答のあと山問の偈を唱えて本堂へ。

先代弘忠和尚が四大不調の為先代も住職を勤めた黄檗山塔頭萬松院の奥田仁芳老師が代わりに退山の偈を唱える退山式を、引き続き伝衣授与。法衣を代えて、ご本尊真前で今上陛下の聖寿無究、世界平和を祈念してご開山及び歴代住職や檀信徒各家先祖代々に一弁の香をささげました。

その後、龍燈会館へ舞台を移し、会館入口での禅問答。四人の僧との問答は裂帛の気合で満堂の参詣者を圧倒、会館内での法要に移りました。尺八奉納の後、引き続き龍燈会館の落慶法要が行われました。

儀式終了後、管長猊下より新命住職に賞典授与。僧階一級昇格し『版首(はんしゅ)』に任命されました。

朝方の晴天も儀式終了間際の鏡割りの時、一転俄にかき曇り一時小雨が降りりましたが、支障なく儀式は終了しました。

思いかえせば、平成二年復興工事開始以来、観音像の安全祈願祭および開眼法要、龍燈会館の地鎮祭および今回と、やはり雨が降ってしまいました。すべて、法要時には降雨も止み、不思議なくらい晴れ上がったのです。

ご開山龍溪禪師の水との深い因縁を思うにつけ、今回の小雨も、九島院の復興に対してのご開山の随喜の涙だとの、奥田老師の言葉が耳に残りました。

